

紫竹ガーデン

紫竹おばあちゃんの可愛い緑の楽園

紫竹ガーデンは、そのワイルドで色彩豊かな環境、そして、紫竹ガーデンを作り出した女性、紫竹昭葉さん、この二つで知られています。「紫竹おばあちゃん」として知られる紫竹さんは、63歳の時、夫の死で打ちのめされた後、「第二の人生」で、何か役に立つことをしようと庭づくりを始めました。

放置されていた農場を買い付け、そこをゆっくりと今日あるお花畑へと変えていきました。紫竹ガーデンでは、化学薬品や肥料を一切使用しておらず、水分も地下水だけに依存しています。庭園には、約 2500 種類もの花が絶え間なく季節ごとの色を見せています。大まかなテーマを設けている区画もありますが、印象派の絵画のように、ほとんどの境目は、ぼやけています。

90 歳を優に超えていても、紫竹おばあちゃんは、ガーデンの運営を続けています。紫竹おばあちゃんは、ほとんどすべてを自らの手で耕し植えてきました。ガーデンキャンバスに描き加えるための特別な場所を常に気をつけていて、ポケット一杯の種をいつでも持ち歩いています。多くはガーデンかレストランのカフェで紫竹おばあちゃんを見つけることができます。来園者と喜んでおしゃべりしたり、写真と一緒に収まったりしてくれます。

カフェでのビュッフェスタイルの朝食は、採れたての野菜に果物、魚、肉、家禽肉、お米、パスタを使った家庭料理と焼き菓子が、広げられることで有名です。料理を食べ終わると、新しいものが出てきます。

紫竹ガーデンは、4月中旬から11月上旬までの毎日、朝から夕方まで開園しています。